

遠隔指導（オンライン授業）開始

新型コロナウイルス感染拡大のため、シンガポール政府の方針によりサーキット・ブレーカーが6月1日まで延長となり、本校の開校も6月6日以降となります。そのため補習校では、その間の授業を遠隔指導（オンライン学習）で行うこととしました。

まず、遠隔指導の授業を行うための準備として、オンライン接続確認や学習の仕方（ルール）等を本校児童生徒、保護者に対して行いました。各クラスの児童生徒数は20名程度ですが、3つのグループに分け、1グループが7名以下となるようにし、不具合が起きても対応できるようにしました。このような試行期間(4/25,5/2)を設け、5月9日から本校の通常校時（土曜日午後3校時）による遠隔指導（一斉授業）が本格的に始まりました。この遠隔指導は開校できるまで続ける予定です。

遠隔指導では、原則として単元の入れ替えや削除を行わず、年間指導計画に基づいて実施されます。ただし、遠隔指導では実施しにくい対面での活動を含む単元については、その活動のみを開校後に実施するようにしています。そのため、遠隔指導の中心的学習は、教科書の内容確認、言葉の説明、漢字指導等を行います。

本校での遠隔指導の目的

- 1) 日本語学習のペースメーカーとしての役割を果たします。
- 2) 家庭学習の補助的役割を果たします。
- 3) 児童生徒の学習意欲を維持伸長する役割を果たします。



上記の目的を果たすために、実際の遠隔指導では、教科書や副教材を活用して、基礎基本の学習指導を中心に展開しています。遠隔指導で扱った単元は、開校後は学習済みの単元として取り扱いますが、必要に応じて振り返り、学習内容の補充・定着を行います。

また、このような非常事態ですので、遠隔指導に参加できない場合でも欠席扱いとはみなしませんが、遠隔指導の前後に送付される担任からの学習内容についての要点・課題に沿って、十分に家庭学習での支援を保護者の方をお願いしているところです。

今回の遠隔指導は、教育の機会均等を確保する取り組みでもあり、児童生徒の皆さんには、新型コロナウイルス感染症予防に努め、健康に留意し、勉学に励んでください。

（今回の記事は、Spring 「シンガポール補習校の広場」に掲載を予定しています。）